

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和2年2月10日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人 翠輝会	特別養護老人ホーム グリーンヒル	特別養護老人ホーム
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
移乗介護	移乗サポートロボット Hug 1	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和2年1月21日	1台	
<p>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</p> <p>※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。</p> <p>トイレ・脱衣・ベット⇄車椅子移乗等の業務で使用・1日30回程度の使用頻度となっている。ユニット会議にて使用利用者・場面等確認していき生活向上委員会にて利用状況等の分析・記録を行なっていく。</p>		
<p>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。</p> <p>ご利用者様が便意・尿意について少し分かるようになり、自分の意識や思考が活発となり返事や物事に対する反応が良くなってきていると思われる。</p> <p>介護職の負担 利用者A 70分、移乗12回/日=840分、利用者B 50分、移乗2回/日=100分、利用者C 40分、移乗6回/日=288分、計1,228分/日の軽減が介護ロボット導入により現時点で軽減が図られている。</p>		
<p>【介護ロボットの不都合な点】</p> <p>※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。</p> <p>怖がり乗りたがらない方や認知症で指示動作が入りにくい方には掴まる動作等が難しい場面も見られている。日内変動により時間帯でスムーズにできるときと出来ない時が見られる。</p> <p>移乗にかかる時間に対して機械操作だけででき、時間の経過に対して職員の意識が自分達で行うより時間がかかっているように感じてしまうため、意識改革と習慣の見直しが必要となっている。</p>		